

● 村川家文書 46

(包紙)

右衛門太輔様御実書 御壱通

以上

一筆申入候、其地へ被参候^ニ

付くし蛸三百入壱箱

持参候由留主居之者

共市右衛門日光へ申越候、心付

之通祝着申候、尚追^而

可申間不具候、恐々謹言

松平右衛門太夫

五月六日 正綱(花押)

追而申入候、御目見之儀

伊豆方へ申入候

村川市兵衛殿

参